

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 福

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 松浦 泰久

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	17,993	2.0	944	△3.8	1,049	△3.9	516	△28.4
27年3月期第3四半期	17,632	△0.4	981	△13.7	1,092	△11.1	722	△1.6

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,099百万円 (△6.1%) 27年3月期第3四半期 1,170百万円 (50.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	47.14	—
27年3月期第3四半期	65.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第3四半期	41,721		29,588		69.6	
27年3月期	41,513		28,655		67.6	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 29,019百万円 27年3月期 28,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—		
28年3月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,270	0.7	1,400	△8.0	1,560	△6.6	910	△11.8	82.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	11,200,000 株	27年3月期	11,200,000 株
28年3月期3Q	234,368 株	27年3月期	233,718 株
28年3月期3Q	10,966,246 株	27年3月期3Q	10,967,038 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成28年3月期の個別業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,180	△1.4	1,280	△12.9	1,460	△10.0	890	△15.7	81.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 参考情報	10
(1) 当四半期の個別業績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など景気回復基調で推移しておりますが、個人消費の回復は依然弱く、原油価格の下落や中国経済の減速もあり、先行き不透明な状況です。

そのような状況の中、主たる事業の放送事業収入が前年を下回りましたが、システム関連事業は官公庁向けの受注等が好調で収入が前年を上回りました。一方、費用面では、経費節減に努めましたが、放送事業収入やその他事業収入の減収を補うことができませんでした。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は179億93百万円(前年同期比 2.0%増)で増収となり、営業利益は9億44百万円(前年同期比 3.8%減)、経常利益は10億49百万円(前年同期比 3.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、厚生年金基金脱退に伴う特別損失等の計上により5億16百万円(前年同期比 28.4%減)でいずれも減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入119億86百万円(前年同期比 1.9%減)、営業利益5億81百万円(前年同期比 11.7%減)となりました。

テレビ部門は、収入103億41百万円(前年同期比 1.3%減)となりました。タイム収入はレギュラータイム提供社減少等で3.0%減、主力であるスポット収入も0.3%減となりました。業種別では、化粧品・洗剤・トイレタリ、流通・小売などが伸びたものの、通信・放送、輸送機器などが落ち込みました。

ラジオ部門は、収入16億45百万円(前年同期比 5.7%減)となりました。スポット収入は12.1%減、タイム収入もイベント収入の減少等により2.2%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入34億45百万円(前年同期比 22.0%増)、営業損失81百万円(前年同期は営業損失2億2百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、積極的な営業活動を展開した結果、官公庁向けソフトウェア開発および機器販売が好調で、増収となりました。利益面でも、前年同期より大幅に改善しました。

③不動産事業

不動産事業は、収入7億65百万円(前年同期比 0.6%減)、営業利益5億18百万円(前年同期比 1.2%減)となりました。テナント収入の減少により、減収減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入17億96百万円(前年同期比 1.1%減)、営業損失76百万円(前年同期は営業利益0百万円)となりました。

催事部門では、「プラントハンター西島清順の世界7大陸植物園」、蜷川幸雄演出の「ヴェローナの二紳士」や福岡市博物館で「世界記憶遺産 山本作兵衛の世界～記憶の坑道～」等を開催しましたが、全体では減収となり、利益面でも営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加し、417億21百万円となりました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が9億97百万円減少したものの、株価の上昇により投資有価証券が7億38百万円、たな卸資産が2億83百万円、前払費用が1億62百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ7億24百万円減少し、121億32百万円となりました。これは主に、短期借入金2億50百万円増加したものの、未払費用が4億10百万円、未払消費税等が2億65百万円、支払手形及び買掛金が2億46百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9億33百万円増加し、295億88百万円となりました。これは主に、株価の上昇により、その他有価証券評価差額金が5億47百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、売上高が第2四半期決算発表時を上回る水準で推移しているため、平成27年11月13日に公表しました予想数値を上方修正しております。この結果、売上高252億70百万円、営業利益14億円、経常利益15億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益9億10百万円を見込んでおります。

(参考)

- ・平成27年11月13日発表の連結業績予想（通期）

売上高247億80百万円、営業利益13億円、経常利益14億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億40百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結累計期間において、RKB毎日分割準備株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、前連結会計年度において連結子会社であった株式会社バフは、平成27年4月1日付で当社の連結子会社であるRKBミュージズ株式会社に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,695	5,737
受取手形及び売掛金	4,264	3,267
有価証券	10	19
たな卸資産	118	401
その他	2,627	2,898
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,714	12,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,405	7,275
機械装置及び運搬具(純額)	821	715
土地	13,319	13,319
その他(純額)	923	1,075
有形固定資産合計	22,470	22,386
無形固定資産		
投資その他の資産	303	258
投資その他の資産		
投資有価証券	4,944	5,683
その他	1,080	1,071
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,024	6,754
固定資産合計	28,798	29,398
資産合計	41,513	41,721
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436	190
短期借入金	240	490
未払法人税等	246	54
その他	3,473	2,870
流動負債合計	4,396	3,604
固定負債		
長期借入金	240	120
退職給付に係る負債	6,237	5,973
その他	1,984	2,434
固定負債合計	8,461	8,528
負債合計	12,857	12,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	26,749	27,104
自己株式	△178	△179
株主資本合計	27,135	27,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,102	1,649
退職給付に係る調整累計額	△165	△120
その他の包括利益累計額合計	936	1,529
非支配株主持分	583	569
純資産合計	28,655	29,588
負債純資産合計	41,513	41,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	17,632	17,993
売上原価	10,839	11,024
売上総利益	6,792	6,968
販売費及び一般管理費	5,811	6,024
営業利益	981	944
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	81	87
その他	37	29
営業外収益合計	122	119
営業外費用		
支払利息	10	5
消費税等調整額	-	6
その他	1	2
営業外費用合計	12	14
経常利益	1,092	1,049
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	-	39
国庫補助金	0	-
特別利益合計	0	39
特別損失		
固定資産除売却損	6	60
固定資産解体費用	-	31
厚生年金基金脱退損失	-	196
その他	0	-
特別損失合計	6	288
税金等調整前四半期純利益	1,086	800
法人税等	398	294
四半期純利益	688	505
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	722	516

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	688	505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	549
退職給付に係る調整額	60	43
その他の包括利益合計	481	593
四半期包括利益	1,170	1,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,203	1,109
非支配株主に係る四半期包括利益	△33	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,221	2,824	769	1,817	17,632	—	17,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	140	37	215	437	831	△831	—
計	12,362	2,862	985	2,254	18,464	△831	17,632
セグメント利益又は損失(△)	658	△202	524	0	981	0	981

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	981
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	981

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,986	3,445	765	1,796	17,993	—	17,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	144	41	209	896	1,291	△1,291	—
計	12,131	3,486	974	2,692	19,285	△1,291	17,993
セグメント利益又は損失(△)	581	△81	518	△76	941	2	944

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	941
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益計算書の営業利益	944

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4 参考情報

(1) 平成28年3月期第3四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(百万円未満切捨て)

【個別経営成績(累計)】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,024	△1.4	1,009	△10.0	1,132	△8.8	580	△26.9
27年3月期第3四半期	14,225	1.5	1,121	△1.2	1,241	0.9	793	7.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	52 89	—
27年3月期第3四半期	72 33	—

【個別財政状態】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	35,614	27,201	76.4
27年3月期	35,125	26,243	74.7

【個別売上明細】

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	10,572	74.3	10,433	74.4	△139	△1.3
ラジオ収入	1,789	12.6	1,698	12.1	△91	△5.1
不動産事業収入	720	5.1	720	5.1	△0	△0.0
その他事業収入	1,142	8.0	1,172	8.4	30	2.6
合計	14,225	100.0	14,024	100.0	△200	△1.4

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。